

1. 授業の概要(ねらい)

そもそも家族とは何か、という問いが、奥深い意味を持ちます。家族はひとを育み癒す滋養の環境であると同時に、最も激しい感情を引き起こし多くの紛争を生む巣窟でもあります。

この授業では、一見誰もがわかったつもりでいる「家族」を、臨床心理学的な視点で、様々な面から問い直し、絶えず動き、呼吸をしているものとして家族をとらえなおしていきます。家族についての様々な事実を紹介するだけでなく、システムとして家族をとらえ、家族そのものの発達の中で子どもや家族員が体験する諸相を見ていきます。

オンライン講義の授業になりますが、受講する学生には、自分自身の家族についての枠組みを問い直し、新しい発見を求める意欲的な気持ちで受講する姿勢を期待します。

2. 授業の到達目標

- ① 家族の定義、家族および家族観の変遷について説明できる。
- ② 家族ライフサイクルなど、家族の発展・成長・変化についてのとらえ方を理解し、説明できる。
- ③ 家族をシステムとしてとらえる臨床的視座について理解し、説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

毎回の授業時で設定される課題または確認小テストの合計で評価します。課題・確認小テストは回答期限内に回答することが必要です。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキストは使用せず、毎回、授業のレジュメを配布します。

参考文献

中金洋子他 『家族心理学』 有斐閣ブックス
村尾泰弘 『家族臨床心理学入門』 北樹出版
亀口憲治 『家族臨床心理学—子供の問題を家族で解決する』 東京大学出版会
シャプアー, H.R. 『子どもの養育に心理学がいえること』 新曜社

5. 準備学習の内容

授業で紹介する書物、ニュース、インターネットサイトなどを、興味を持って読み、関心を広げてください。

6. その他履修上の注意事項

- ① 毎回、レジュメPDFと、音声配信します。レジュメは概要なので、講義や、自主的な学習により、充実させ、内容を理解するようにしてください。
- ② 課題・確認小テストは、授業ごとの受講期間(授業日から1週間)までは回答を提出できるようにしますが、回答期限内に提出したときより点数が下がります。
- ③ 個人の体験だけではなく、多角的に家族を見る姿勢を身につける努力をしてください。
- ④ 心理学の研究調査への協力を複数回予定しています。参加は任意ですが、研究参加体験としてご協力ください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | イントロダクション。家族とは |
| 【第2回】 | 家族の定義の変遷。核家族・世帯について |
| 【第3回】 | 家族システムという考え方について |
| 【第4回】 | 家族ライフサイクル ① (家族の発達段階という視点, 移行期のストレスと現象) |
| 【第5回】 | 家族ライフサイクル ② (家族ライフサイクル I ~ IV) |
| 【第6回】 | 家族ライフサイクル ③ (家族ライフサイクル V ~ VII, 家族ライフサイクルのまとめ) |
| 【第7回】 | 離婚と家族 ① (離婚の制度, 親の離婚と子どもについての制度) |
| 【第8回】 | 離婚と家族 ② (親の離婚の子どもへの影響) |
| 【第9回】 | 犯罪と家族 ① (犯罪の要因としての家族) |
| 【第10回】 | 犯罪と家族 ② (立直りの環境としての家族, 犯罪加害者・被害者の家族) |
| 【第11回】 | 家族の中の暴力 (家族の中で起きる暴力の種類, 児童虐待の実態, 児童虐待への介入) |
| 【第12回】 | 家族療法 ① (家族療法の定義・歴史, 各派の概念や技法 I) |
| 【第13回】 | 家族療法 ② (各派の概念や技法 II) |
| 【第14回】 | 家族療法 ③ (各派の概念や技法 III) |
| 【第15回】 | 振り返りとまとめ |